



平成 31 年 4 月 15 日
広 報 室

谷口英樹教授、松本直通教授が 平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞

横浜市立大学学術院医学群の谷口英樹教授（臓器再生医学教室主任教授）、松本直通教授（遺伝学教室主任教授）が、平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）※を受賞しました。

表彰式は、平成 31 年 4 月 17 日（水）、文部科学省 3 階 講堂（東京都千代田区霞が関 3-2-2）において執り行われます。※次項参考あり

◆谷口英樹 教授（臓器再生医学教室）

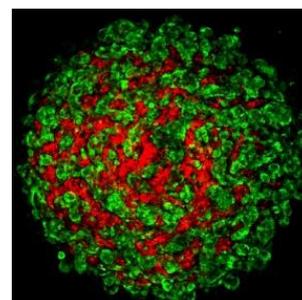


受賞実績 「iPS 細胞を活用したヒト臓器創出を目指す戦略的研究」

受賞コメント

今回の表彰は、我々が推進してきたヒト iPS 細胞を用いた器官原基(オルガノイド)創出技術を活用した臨床開発に対して授与されたものです。今後、難治性肝疾患に対する臨床試験を順次実施していく予定です。我々の臨床開発はスタートラインに立った段階であり、これからがいよいよ本格実施となってまいります。

今回の受賞にあたり、当研究室の構成各員の奮励努力、本学ならびに横浜市の多大なるご支援に深謝いたします。患者様からのご期待に応えるべく、これからも一所懸命に全力を尽くす覚悟があります。



iPS 細胞から作成した立体的なヒト肝臓原基 (Nature より引用)

◆松本直通 教授（遺伝学教室）

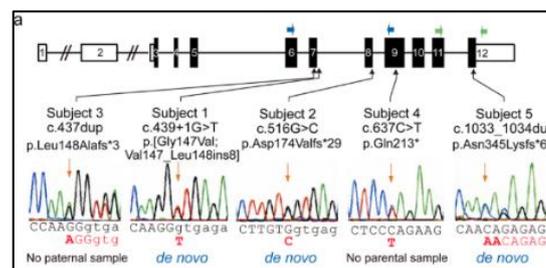


受賞実績 「多様なヒト遺伝性希少疾患の原因究明に関する研究」

受賞コメント

圧倒的高出力を有する次世代シーケンサー (NGS) を用いて、2010 年にこれまで未知だった疾患責任遺伝子が初めて同定に成功、さらに NGS の高出力を利用しヒト全遺伝子領域をシーケンスする全エクソーム解析 (WES) 法を確立しました。この NGS 技術により遺伝子の点変異から量的異常までの包括的な解析や、解析に有用なデータ整備を実現でき、新たに 34 のヒト疾患責任遺伝子を解明しました。

研究に参加頂いた患者様とご家族、ご担当の先生方、並びに研究に貢献して頂いた多数の学生諸氏・教室員の方々のご努力の賜物であり、ここに深謝の意を表します。



世界に先駆けて同定した SENDA の原因遺伝子 *WDR45* の変異

参 考

(文部科学省サイトより引用)

平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について

文部科学大臣は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として、次のとおり各賞を授賞している。

- 科学技術賞（開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門）
- 若手科学者賞
- 創意工夫功労者賞

(1) 科学技術賞

1) 開発部門

我が国の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与し、実際に利活用されている画期的な研究開発若しくは発明を行った者が対象。応募件数 50 件、授賞件数 23 件（77 名）。

2) 研究部門

我が国の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は開発を行った者が対象。応募件数 149 件、授賞件数 43 件（54 名）。

3) 科学技術振興部門

科学技術の振興に寄与する活動を行った者が対象。応募件数 6 件、授賞件数 5 件（11 名）。

4) 技術部門

中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した者が対象。応募件数 13 件、授賞件数 6 件（10 名）。

5) 理解増進部門

青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者が対象。応募件数 19 件、授賞件数 11 件（28 名）。

(2) 若手科学者賞

萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた 40 歳未満の若手研究者が対象。応募者数 304 名、授賞者数 99 名。

(3) 創意工夫功労者賞

優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者が対象。応募者数 2,503 名、授賞者数 965 名。

表彰式

- 日時：平成 31 年 4 月 17 日（水曜日）12 時 10 分から
- 場所：文部科学省 3 階 講堂（東京都千代田区霞が関 3-2-2）
- 出席者：柴山文部科学大臣（予定）、各賞受賞者 等